



# 美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会

## 活動方針（案）

一般財団法人マリンオープンイノベーション機構

# 1 社会的背景

## ① 海・湖の豊かさの危機

漁獲量の減少

象徴：サクラエビ（駿河湾）、アサリ（浜名湖）

⇒ 原因がよくわかっていない。改善の取組が不十分。



## ② 海のおおしさの危機

海洋汚染、地球温暖化といった世界的な課題

象徴：海洋プラスチック

⇒ 世界的な取組、全員参加の取組が必要



## ③ 海のおおかさの新たな利用による持続可能な開発への貢献

様々な科学技術の飛躍的发展

(ICT、AI、バイオテクノロジー等)

⇒ 多様な「知」の融合による「新たな価値」の創造・共創への期待



## ④ 人々の海への親しみ・関心の高まり

マリンレジャー・マリンスポーツや海岸清掃活動の活発化

⇒ 人々の活動を横つなぎし、機運をさらに盛り上げる



海洋のおおかさ・おおしさを 守り、次世代に引き継いでいく必要性

## 2 「静岡の海」をテーマにした連携・協働の枠組みづくり

### ○ 取組の方向性

世界に誇るべき美しく豊かな静岡の海を未来に引き継いでいくため、「**守り 活かす**」「**伝える**」「**交わり 親しむ**」「**究める**」を4つの取組の柱として、様々な人々・企業・団体等の**連携・協働**を推進する枠組みを創設する。

#### 守り 活かす



ごみ拾い活動



ブランド育成

#### 交わり 親しむ



表彰・交流イベント



マリンスポーツ普及

#### 伝える

HP等での情報発信



静岡の海読本の発刊



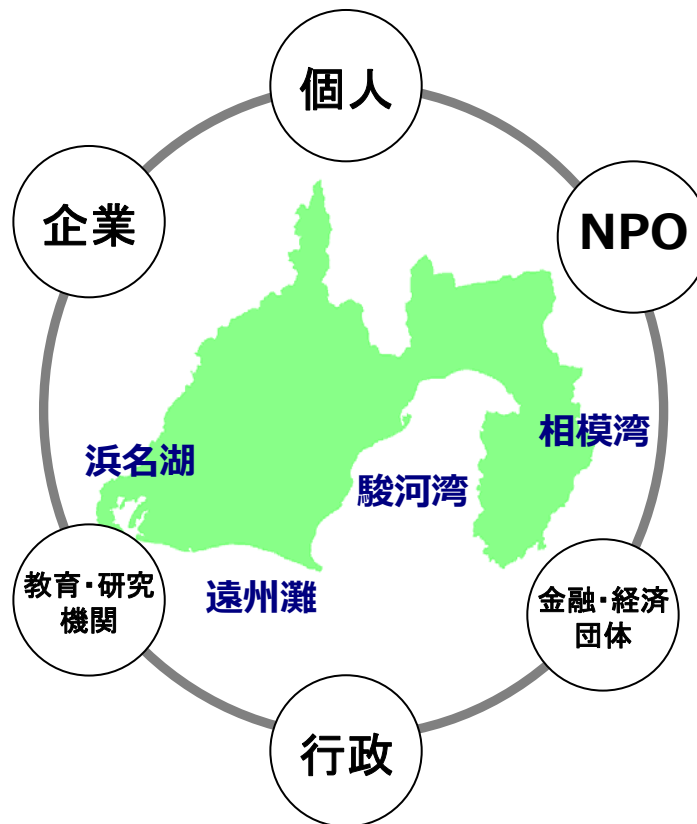
美しく豊かな静岡の海を  
未来につなぐ会

#### 究める

海洋汚染研究



海洋資源等研究



「静岡の海」をテーマに、人々・企業・団体等の取組をつなぐ大きなネットワークを形成

### 3 「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」の設立

令和元年12月24日

川勝知事（発起人代表）による設立意思表明

令和元年12月～  
令和2年2月



設立趣旨書

設立趣旨に賛同した県内外の企業・団体・大学・行政の  
代表ら **120人以上** が発起人に就任

＜発起人所属＞

- 企業（鈴木、スズキ、ヤマハ発動機、はごろもフーズ、サッポロビールほか）
- 金融機関・マスメディア（県銀行協会、NHK、静岡新聞社ほか）
- 経済団体（商工会議所連合会、商工連、経営者協会、中小企業団体中央会ほか）
- 港湾・漁港・水産団体等（海のみらい静岡友の会、県漁連ほか）
- 文化・観光・スポーツ・まちづくり団体等（県観光協会ほか）
- 大学・研究機関・教育機関（東海大、静岡大、東京海洋大ほか）
- 芸能人・料理人（岩崎恭子さん、ふじのくにマエストロシェフほか）
- 山梨県・県内市町・県関係機関（富士山世界遺産センターほか）

令和2年2月14日

設立総会・キックオフイベント開催

美しく豊かな静岡の海を私たち皆の手で未来へ！



# 4 設立総会・キックオフイベントの開催 (令和2年2月14日 清水マリナート)

## 設立総会

### 会則の承認・会長決定

- ◆ 出席した発起人の皆様の採決により、会則を承認。⇒ 会の発足
- ◆ 初代会長には川勝知事が就任



## キックオフイベント

- ◆ 発起人と一般来場者も交え、会の発足を記念するイベントを開催
- ◆ 県全体で静岡の海を未来につないでいくという取組の気運を醸成

### 基調講演 「静岡の海の可能性」

#### 【講師】

- 東京工業大学 環境・社会理工学院 教授 橋本 正洋 氏  
(MaOI 機構統括プロデューサー)



### パネルディスカッション

### 「私たちの手で美しく豊かな静岡の海を未来へ」

#### 【登壇者】

- 静岡県富士山世界遺産センター 館長 遠山 敦子 氏
- 清水港振興(株)社長/鈴与(株)相談役 村上 光廣 氏
- 東海大学 海洋学部 教授 齋藤 寛 氏
- 入野漁協 専務理事兼事務局長 杉山 恵子 氏
- BOWA代表 浅野 美和 氏
- 東京工業大学 教授 橋本 正洋 氏 (モデレーター)



# 5 「美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会」の活動【案】

## 美しく豊かな静岡の海を 未来につなぐ会

### 会員募集

#### 一般会員

##### 企業・個人

- 会費・寄付金による応援  
個人：1,000円/年  
家族：1,500円/年  
法人：一口10,000円/年

#### 応援会員

##### 教育・研究機関 行政機関等

- 会費（任意の額）
- 会費以外の応援・連携

### 1 自主プロジェクトの運営

- 会員が入会する動機付けになる、会の看板となる独自の取組 会費収入を充当
- 企業のCSR活動の対象となりやすい内容

### 2 既存プロジェクトの支援

- パートナーが行う、既存の実践活動の応援
- 情報共有、情報発信、ネットワーク提供などで各活動を応援

### 3 新規プロジェクトの立上げ支援 (分科会)

- 事務局がコーディネートし、会員・パートナーの中から新たな実践活動が生まれる支援を行う

### パートナー シップ拡大

#### パートナー

##### 既存の実践活動 の実施主体

「静岡の海」に係る実践活動を行っている団体  
・ NPO等

- 「つなぐ会」や他のパートナーとの連携
- 交流会への参加等

#### 事務局

##### MaOI機構

情報収集、情報発信（PR）、ネットワーク構築、交流会開催、分科会コーディネート等

会員とパートナーをつなぎ、「静岡の海」に係る様々な活動を運営・支援するプラットフォームに

# 6 自主プロジェクト < 静岡の海の森づくりProject > 【案】

日本独自の「里山・里浜・里海概念」の視点に立ち、「海の森」、「海のゆりかご」とも言われる海藻の繁殖地「藻場」の保全・回復を柱とした県民参加の取組を立ち上げる。

漁業者、研究機関、行政、教育機関等と連携し、藻場回復や植林活動、海洋プラスチックごみ防止等に取り組むとともに、藻場の大切さ、人の手による海の保全管理の重要さ、陸域と海域の繋がりなどについて、広く啓発していく。

## 1. 海のゆりかご・藻場回復活動

(漁協、市町、県水産技術研究所等と連携)

- ・かつて相良沖に繁茂していたサガラメの藻場回復の取組を応援
- ・将来的に他の海域の藻場回復の取組にも支援を拡大していく



## 2. 海を育む森づくり活動

(漁業者、森づくり団体等と連携)

- ・森の滋養分が海に流れ込み、海の生物を育むことから、県民参加型の植樹イベントの開催を支援



## 3. 海洋プラスチックごみ防止活動

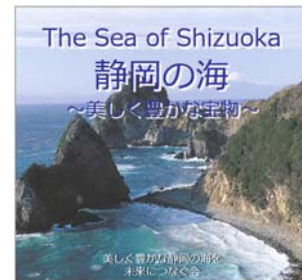
(6R県民運動等と連携)

- ・6R県民運動と連携し、海岸ゴミ清掃活動やプラスチック製品代替品の利用促進等を実施。



## 4. 「海の森づくり」教育活動

- ・1～3の取組やその意義・背景等を子供達に伝える教材冊子を作成し、活動参加者や県内小学校等に配付。



## 「海のゆりかご・藻場回復活動」の実施イメージ

つなぐ会として磯焼け対策協議会のサガラメの藻場回復の取組を応援する。  
会費を財源とした資金的な支援に加え、会員（小学生等）参加型の体験教室も開催し、藻場の大切さについて学ぶ機会をつくる。

### ① サガラメ種苗を基盤に移植（10月下旬頃） （県水産技術研究所）

体験  
座学



- 海に優しい海洋生分解性プラスチックの基盤に、サガラメの苗を植え付ける作業を体験
- 水技研職員・漁業者によるサガラメ藻場についての解説
- 海藻おしば協会の指導による海藻おしばづくり  
子どもたち各自でハガキを作り、一週間後に自宅に届く

※2年目以降

撮影した設置映像と藻場の回復状況等を

①で視聴しながら説明

### ③ 海底に基盤を設置（12月） （相良沖）



- 育ったサガラメの基盤を潜水士が海底に打込む
- 設置の様子を水中ビデオ等で撮影

### ② サガラメ種苗の生育 （県水産技術研究所）

- 移植したサガラメを海中で自生ができる大きさになるまで水槽内で生育（1ヶ月程度）





## 7 既存プロジェクトの支援

静岡の海に係る活動を既に行っている様々な団体を「パートナー」として募集。  
つなぐ会の活動に連携してもらいながら、各団体を支援し、活動の活性化を図る。

美しく豊かな静岡の海を  
未来につなぐ会

つなぐ会への参画・連携

既存の活動団体の支援

パートナー

既存の実践活動  
の実施主体

「海のみらい静岡友の会」  
「BOWA」をはじめ、  
静岡の海に係る実践活動  
を行う団体・NPO等

- 交流会やWEBコミュニティを通じた交流促進・ネットワークの提供（他団体との横つなぎ）
- 会員とのマッチング（参加者、支援者獲得支援）
- 国内外への情報発信・PR支援（世界で最も美しい湾クラブでのPR、つなぐ会HPでの紹介等）
- 共通ロゴ等の提供

<共通ロゴのイメージ>



Save the Sea of Shizuoka

美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会

# 8 分科会プロジェクトの立上げ支援

会員・パートナーの交流を活性化し、静岡の海に係る新たな実践活動を創出。  
取組が軌道に乗るよう、様々な支援を行う。

美しく豊かな静岡の海を  
未来につなぐ会

企画運営委員会への参加

立ち上げコーディネート  
／活動への支援

## 分科会

新規の実践活動  
の実施主体

静岡の海に係るキーマンとなる方に企画運営委員に就任していただくとともに、分科会長として活動をリードしていただく。

- 交流会やWEBコミュニティを通じた交流促進・ネットワークの提供（他団体との横つなぎ）
- 会員とのマッチング（参加者、支援者獲得支援）
- 国内外への情報発信・PR支援（世界で最も美しい湾クラブでのPR、つなぐ会HPでの紹介等）
- 共通ロゴ等の提供

分科会の例  
(想定案)



美しい海づくり  
分科会



生き物生息場  
づくり分科会



ブランドづくり  
分科会

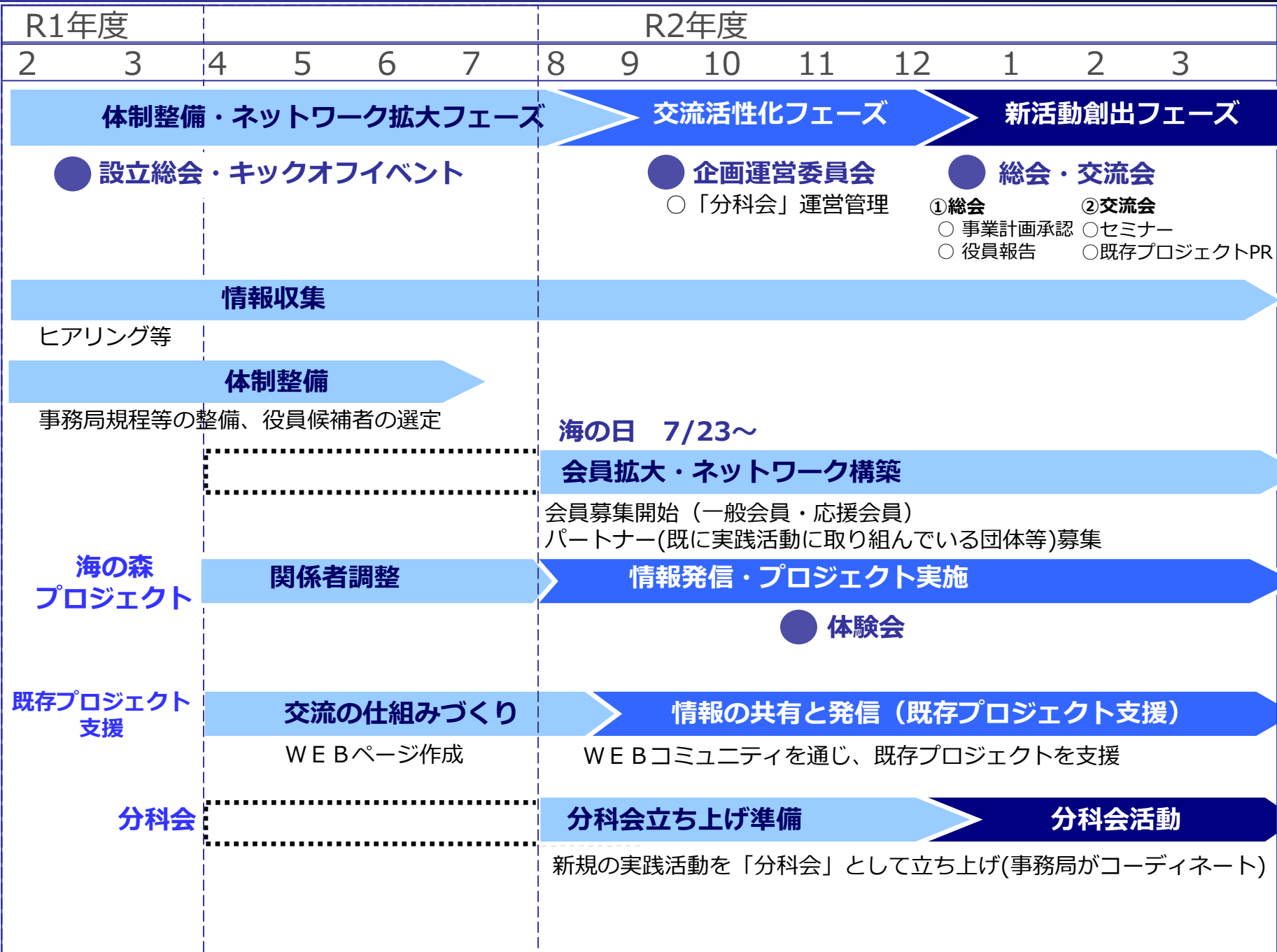


観光・ネットワーク  
分科会



海洋環境研究  
分科会

# 美しく豊かな静岡の海を未来につなぐ会事業スケジュール (案)





会に参加し

共に（ONE TEAMとなって）行動し

静岡の海を美しく豊かにし

未来へつないでいきましょう